

# 今できる「特別活動」の実践紹介 【主体的な学習】と【異学年交流】

川崎市では、6月15日より感染拡大防止に努めつつ通常登校が行われています。各学校と学級では、少しずつ子ども達の主体的な学び、自主的な活動が行えるようになってきました。そして、川崎市教育委員会は6月23日に学校再開後のガイドラインを更新しました。これによると、7月初旬より異学年交流活動（委員会、クラブ等）が行えるようになりました。また、特別教室の使用についても解除されており、学校図書館の使用も可能となっています。これらのことから、学校が以前のような落ち着きを取り戻しつつあると感じます。一方で、今後危惧される第2波により、改めて学校休業があった場合の学習に対する不安の声もあります。

そこで、川崎市小学校特別活動研究会は、主体的な学習と異学年交流に関することの資料を作成しました。各学校、学級でご活用いただければと思います。本資料が、子どもたちの「学びの保障」に寄与できたら幸いです。

## ①主体的な学習

学級活動（2）と（3）の適切な指導により、子ども達は「自己指導能力（自分をよりよくしていく力）」を高めていきます。特に、臨時休業が続いたことにより、改めて「学ぶ」ということに関心が集まっていることから、学級活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」のウ「主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」の指導は大切です。また、今後予想される第2波への対策としても、今、主体的な学習態度の形成に関する指導を行うことは重要だと考えられます。

### ○「学級活動（3）実践事例集」の活用

2018年度に作成、2019年の春に各校1冊配付した「学級活動（3）実践事例集」には、主体的な学習態度の形成に関する指導案が掲載されています。ぜひご参考にいただければと思います。なお、今回はすぐに活用できるようPDF版で下記の資料もお送りします。各学級での指導に役立てていただければと思います。

3年「学しゅうパワーアップ大作せん PART1」

6年「どうして学習するのかな」

# ○「キャリア在り方生き方ノート」の活用

小学1年生から高校3年生までの12年間をつなぐ5冊の「キャリア在り方生き方ノート」には、各学年に応じた主体的な学習態度の形成に関係するページがあります。これを活用することも考えられます。



**7 今日わたし 明日わたし**

あしたのわたし 明日のわたし

いろいろなことに ちょうせん できる ように する ために、毎日、するべきことを やって、じゆんびき を して いきましょう。

つぎのことは、できていますか？

家で、本の読み聞かせの時間がある時に、自分から、ペン算をはじめています。

学校で、先生の話を、しっかりと聞いています。

家で、ペン算は、時間をきめて、やっています。

いつも、正しい字を、書いています。

ペン算で、わからないことは、先生や、親に、聞いています。

家で、ペン算をする時は、つくえの上を、きれいに、してから、はじめています。

あいうえお

読みおしや、まちがちなおしをして、います。

家で、ペン算は、手紙を、けて、やっています。

**9 家庭学習パワーアップ作戦**

目標が達成できると、どんな気持ちになるでしょうか？

1年生では20分、2年生では15分、3年生では10分、4年生では5分、5年生では5分、6年生では5分、7年生では5分、8年生では5分、9年生では5分、10年生では5分、11年生では5分、12年生では5分。

まずは、達成できるように目標のない計画を立てましょう。

生活 勉強 手紙

起る時ここ： ねむる時ここ：

家での勉強 チェック 家の人のコメント

目標 達成ドット、読書20分 正しく計算できました

事・生活

一行日記

**13 めあてをもって**

なぜ、勉強するの？

「勉強するの？」は、物や人がどう変わるかと、関係していることができる。

知らなかったことがわかって、役に立つ。

勉強して、物事を考え、解決する。新しいこと、自分から、挑戦することが、できる。

勉強して、自分で、物事を考え、解決することが、できる。

「勉強するの？」について、それぞれ、いろいろな考えがあるけれど、自分のために、勉強することは、大事なこと。

一週間の予定で、楽しい日や忙しい日があるでしょう。また、中学生は部活動がある日もあります。一日の中で自分のために使える時間は、曜日によって異なります。使える時間が長い日も、短い日もあります。時間を有効に使って、めあてを持って勉強しましょう。

やめせ！！

毎日の生活にめあてをもって取り組めよう

レベル1：これはできる  
レベル2：これはできる  
レベル3：これはできる

達成できそうだから、ちょっと賢いところまで、3段階のレベルを設定しましょう。

レベル1：  
レベル2：  
レベル3：

どんなことを 学びましたか？

頁 目 ( )

ペン算で、「楽しい」「おもしろい」と思ったことは、どんなことですか？

何か、発見したことは、ありましたか？

**指導のポイント**

主体的な学習態度の形成は、実践とその振り返りを繰り返すことにより、少しずつ身に付きます。低学年のうちからは、自ら学習する楽しさを味わうことを大切に、中学年からは計画的に学習することを大切にしていきましょう。計画も1週間程度から少しずつ期間を伸ばしていくことが考えられます。第2波に備えることを考えると、早い段階で主体的に学習する態度を育てていくことを意識することが大切です。

**月**

自分の達成度を振り返りながら、一週間ごとに記録しましょう。目標が達成できたら「F」、半分達成したら「P」、半分未満なら「D」の赤い線を引いてください。1週間ごとの達成率、レベルごとの達成率、レベルごとの達成率を記録していきましょう。

達成度

レベル1 レベル2 レベル3

第1週 第2週 第3週 第4週 第5週

今年も振り返って反省や、来月に向けて改善したいことなど

## ○コロナ対応！学校図書館の活用例

文部科学省が通知した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～（2020.06.16）」では、学校図書館の利用について、次のように示されています。

学校図書館は、児童生徒の読書の拠点として、また学習・情報の拠点として、学校教育における重要な機能を果たしています。図書館利用前後には手洗いをするというルールを徹底し、また児童生徒の利用する時間帯が分散するよう工夫して図書館内での密集を生じさせない配慮をした上で、貸出機能は持続するよう取り組みます。

このことから、学校図書館は、子どもの学びを保障する観点からも、その役割は大きいと言えます。また、6月23日に更新された本市のガイドラインによると、学校図書館を使用することが可能となっています。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応は大変ですが、学校図書館司書や総括司書と連携を図り、感染拡大防止対策をとった準備をしていくことが大切です。

### 第1学年 学級活動(3)「としよしのつ つかいかた」指導案(学校図書館利用のオリエンテーション)

1. ねらい 学校図書館の役割や使い方、きまりを知り、本はみんなのものであることや本を大事に扱うことについて知り、安心して図書室の利用ができるようにする。

#### 2. 展開

	活動の内容	指導(○)と評価(☆)
導入 【つかむ】	1. 図書室はどんなところかな？ ・本を読むところ。 ・本を借りるところ。	○学校探検を想起できるように図書室の写真を掲示する。
展開 【さぐる】	2. ゲストティーチャーからの話を聞く。 ・図書室について ・本の扱い方について ・本の貸出返却の仕方	○学校図書館司書や図書ボランティアと協力して利用の仕方や約束、本を大事にする方法があることを伝える。 ○本の扱い方については、実際にやって見せたり、写真を○×クイズにしたりするなどして理解できるようにする。 ○本の貸出返却については、通常の方法と、感染予防時の方法があると考えられるので、実態に合わせて伝えるようにする。
【見つける】	3. 本の扱い方について、○×クイズを行いながら、使い方を話し合う。	○クイズをしながら、どうすればよいのか話し合いができるように支援する。 ☆学校図書館や利用の仕方、本の扱い方を理解している。【知識・技能】
終末 【決める】	4. 本を借りる練習をし、これからどのように学校図書館を利用するか決める。	☆本を借りるときの自分なりのめあてを考えている。【思考・判断・表現】

★感染予防時の図書室の利用の仕方(例)

- ・図書室の座席は、椅子の数を減らし、正面にならないよう互い違いにする。
- ・図書室へ入室する前後は、手を洗ってから入室する。
- ・混雑を避けるため、一度に立ち歩いて本を取りに行くのは10人程度とする。
- ・本を取りに行くときは、各テーブル一人ずつなど、工夫して行う。
- ・教師は、各テーブルを消毒してから教室に戻る。

本のバーコードと、図書カードを表にしてカウンターで渡すようにする方法も考えられる。  
※作業の効率化が上がり、接触部分も減る。

★休み時間の利用の仕方(例)

- ・図書室の入室前後は、水道で石鹸を使って手を洗ってから入室する。
- ・本を探すとき読むときは、ソーシャルディスタンスを守る
- ・本の貸出(返却)の時は、テーブルにそって並ぶ。
- ・返却は、廊下のブックトラックに置く。
- ・席がない時は、教室で読むなど混みあわないように工夫する。

#### 指導のポイント

新型コロナウイルス感染拡大防止対応の図書室の使い方は、各校での対応の仕方があると考えられるので、学校図書館司書や図書担当と十分相談の上、指導していくことが大切です。図書委員の児童が貸出や返却をする場合は、前後の手洗い等の感染対策を行い、安心して安全に委員会活動ができるように配慮しましょう。

## ②異学年交流

これまで行ってきた異学年交流（委員会活動やクラブ活動など）の内容を改めて考え直し、「今、できること」「今、必要としていること」を行うことが大切です。以下にいくつかのアイデアを掲載するので、各校で活動する際の参考にていただければと思います。

### ○委員会活動

委員会名	活動例	備考
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生をむかえる会の計画と運営</li> <li>・今だからこそできる全校の活動を考えていく。</li> </ul> （例 エアハイタッチあいさつ運動）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出し物は動画にする。</li> <li>・USJなどをイメージ</li> </ul>
保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いに関する動画を作成したり、ポスターを作って掲示したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁止を呼び掛けず、「～しよう」と呼び掛ける。</li> </ul>
図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせを動画で撮影し、校内放送やTV朝会等で放映する。</li> <li>・校内放送を使った本の紹介</li> <li>・読書貯金表をつくり、各クラスに配り、読書を広める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時間に放映することも考えられる。</li> </ul>
運動スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座ってできるストレッチを考え、動画撮影をし、各学級で行えるようにする。</li> <li>・フィジカルディスタンスを意識したキラキラタイムの提案をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝や休み時間に放映することも考えられる。</li> </ul>
集会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート集会の実施（生放送で全校集会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室で参加する。</li> </ul>
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だよりの内容の一部を、子ども達で考える。</li> </ul>	
掲示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合った掲示物や感染予防についてまとめたものを掲示する。</li> </ul>	
放送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼の放送で曲を流す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた曲を選ぶ。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中休みに少人数でコンサートを行う。 （TVで生放送をし、各教室で鑑賞）</li> <li>・校歌の手話録画し、全校で視聴する。</li> <li>・音楽クイズ （例 ピアノの左手パート+打楽器パートを流して、曲を当てる。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器、弦楽器などで構成</li> <li>・事前に録画しておき、校内放送等を活用してクイズを出す。</li> </ul>
新聞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスから今週のよかったことを募集し、新聞にまとめていく。</li> </ul>	
代表委員会	代表委員会の様子を生中継する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表委員会をもっと身近に感じてもらう。</li> </ul>

## ○クラブ活動

クラブ名	活動例	備考
バスケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1分間シュートチャレンジ(グループでゴールまで距離別1列に並び、全員がその場所からシュートする。1分で全員ゴールを目指す。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1分間の曲を用意しておくのと盛り上がる。</li> </ul>
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数グループでのダンスコンテストを開催し、動画で流す</li> <li>・その場でできる振り付けをテレビ放送で流す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想箱を設置し、感想を書いてもらう。</li> </ul>
バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽根を何回トスできるか勝負する。</li> <li>・的当て。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニゲームを考える。</li> </ul>
野球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロ野球名場面クイズ</li> <li>・プロ野球実況中継&amp;解説</li> <li>・次の投球予想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手のマネをしたクイズ</li> <li>・録画しておいたものを消音にし、自分なりの解説や予想をし合う。</li> </ul>
陸上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードル走や短距離走を行う。</li> <li>・幅跳び、高跳びを行う。</li> </ul>	
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカークイズ大会とクラブメンバーで行う。</li> </ul>	
調理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・究極のメニュー大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一生に一回は食べてみたい壮大な食事を絵に描いて発表し合う。</li> </ul>
将棋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室等を活用して、戦術(戦法)を紹介するブックを作成する。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外で歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所確保の観点から屋上等の使用も考えられる。</li> </ul>
カードゲーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必勝パターン集を考え発表し合う。</li> </ul>	
アート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジカメ使用で、コマ送りおもしろアートを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Eテレのピタゴラススイッチ「こんなことできない」を参考にする。</li> </ul>
演劇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートドラマを撮影する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集が難しい場合、ノーカット撮影(「カメラを止めるな」のように)することも考えられる。</li> </ul>

### 指導のポイント

最新のガイドラインを参考にしながら、子ども達と一緒に活動内容を考えることが大切です。また、第1回目の集まりで活動内容を考えるのではなく、事前の活動として休み時間等を活用して、どのような活動を行えるかを考えておくこともできます。考えたことは、委員会やクラブの掲示板を使うなどして情報共有ができるようにしましょう。